

1 目的

- ・海外専用銘柄‘きんかんぼうや’の知名度向上
- ・現地(香港)消費者のニーズに対応した食味安定に向けた技術確立



(試験ほ設置状況)

2 実施状況

(1) 試験ほの設置

ハウスきんかん園へのマルチ設置による果実品質等を調査したところ、糖度、クエン酸含量、着色ともに設置区の果実品質が優れ、食味向上に向けた一つの技術として効果が高いことが確認できた。

(2) 香港での試食宣伝会の実施

本年度で4年目を迎える、きんかんの海外輸出について、香港での試食宣伝会を開催し、専用銘柄‘きんかんぼうや’の知名度向上に向けた取組を推進した。



(香港試食宣伝会)

3. 今後の課題、取組

現地での試食宣伝会において、生産者間での果実品質(食味)にバラつきがあったため、生産者間の平準化が必要と考えられた。今後はそれらの改善に向けた取組を検討していきたい。



(検討会・意見交換)